

大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

Outcome report

計画名 Plan	スタンフォード大学フーバー研究所所蔵日中関係史料の調査
氏名 Name	陳春松
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	法学研究科法制理論専攻博士後期課程三年
渡航国 Country	アメリカ
渡航日程 Travel schedule	2023 年 2 月 10 日 ~ 2023 年 2 月 19 日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

私は現在、第二次世界大戦期における中国政府の指導者である蔣介石の外交政策について研究を行っている。この研究を進めるためには、彼の日記が最も重要な資料の一つである。スタンフォード大学フーバー研究所に所蔵されている蔣介石日記の原本は、2006年に公開されたが、現地でしか閲覧できない状態が続いている。蔣介石日記の他、フーバー研究所は多数の資料（蔣介石の息子である蔣経国の日記、戦前アメリカ政府の極東政策の立案者の一人であるホーンベック（Stanley Hornbeck）の個人文書など）をも保管している。今後さらに研究を深化させるためには、これまで先行研究で十分に使われてこなかったフーバー研究所所蔵の一次史料を調査・活用することが不可欠である。本助成金が採択された際には、フーバー研究所でなるべく多くの資料を収集したいと考えている。

成果 Outcome

本助成金を利用して、フーバー研究所で以下の資料を収集した。

- 1) 日中戦争期（1937-45年）を中心とする蔣介石日記・蔣経国日記の閲覧・精査・筆写

※撮影・複写は許可されていないため、日記原本を精査し、既に刊行されている各種刊本と照合し、未翻刻部分などを筆写する作業が中心となる。

- 2) ホーンベック（Stanley Hornbeck）文書の閲覧・調査・撮影

※1930-40年代アメリカ政府の極東政策の立案者の一人であったホーンベックの個人文書は564箱にも及ぶ膨大なものだが、今回の調査にあたっては、事前にオンライン目録、ホーンベックの評伝、アメリカの公刊外交文書を精査した上で、調査対象を日中戦争期のアメリカの対中政策および日米中関係（box454-476）に絞り、効率的に

調査・撮影を進めた。

今後の展望 Prospects for the future

今回の史料調査の成果を踏まえて、本年度中に「蒋介石の対日観とアジア主義的思考草稿」と題する論文をまとめ、京都大学法学会『法学論叢』に投稿する予定である。以上の調査・執筆を経て、2024年3月までに『蒋介石と日中戦争：1937—1941』と題する博士論文をまとめて提出し、大学院法学研究科を修了したいと考えている。